

平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	東アフリカ共同体(EAC)拠出金			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始			担当課室	アフリカ第二課			麻妻 信一	
会計区分	一般会計			政策・施策名	基本目標Ⅶ:分担金・拠出金 具体的施策Ⅶ-1:国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	EAC事務局からの要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アフリカ開発を効果的に推進するためには、国境を越えた地域レベルでの広域な対応が必要であり、我が国は「地域協力」を対アフリカ開発政策の柱の一つとして重視してきた。本年6月に開催したTICAD Vでも、域内の貿易促進やインフラ整備等地域を対象とした取組の重要性が確認された。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	EACは国境を越えた地域におけるインフラ整備や域内貿易振興のための法整備等に重点をおいて取り組んでいる。我が国は、ケニア・タンザニア間インフラ支援(有償資金協力「アルーシャ・ナマンガ・アティ川間道路改良計画」、ナマンガOSBP設置等)、タンザニア・ルワンダ間インフラ支援(無償資金協力「ルスモ国際橋及び国境手続き円滑化施設整備計画」等)をはじめ、EACの優先課題に沿った支援を実施してきている。EAC拠出金を通じてEAC事務局の調整・プロジェクト実施能力の強化に貢献した。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	2	2	1	-			
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
	計		2	2	1	-	-		
	執行額		2	2	1				
執行率(%)		100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	目標:EAC事務局及び地域のキャパシティ・ビルディング強化 実績:EACからのセミナー参加国数			成果実績	ヶ国	5	5	5	-
				達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	セミナーを1回以上開催			活動実績 (当初見込み)	回	1 (1回以上)	1 (1回以上)	1 (1回以上)	— ()
単位当たりコスト	1 (百万円/1回)			算出根拠	セミナー開催にかかる諸費用をセミナー開催回数(1回以上)で割ったもの。				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
			-	-					
	計		-	-					

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	アフリカの地域統合はTICADプロセスにおいても積極的に支援してきており、我が国民間企業の海外展開にも資するもの。他方、このような支援は、地方自治体や民間セクターが実施できるものではなく、政府として他ドナーと協力して進めていくことが必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	基金の使途や支出先については、同基金に拠出するドナー諸国が継続的に共同してモニターするとともに、常に改善を申し入れ、フォローアップを行ってきている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	我が国ODAを含むドナー諸国による東アフリカ地域への支援は国に対して行われるものが多いが、地域としての経済統合、右を通じた経済成長を促進するためには、国に対する支援と並行してEACに対する支援を行うことが重要である。EACの実施案件については、事前・事後にドナーに対する説明・報告が常になされ、理解が示されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	2012-2013年度の予算は我が国優先分野の域内インフラ整備を含む優先課題に沿って執行されており、EACとの更なる関係強化のために有益な事業である。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
	-					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	162	平成24年	184